

山 梨 県 指 定 史 跡

甲斐国千年の都



笛吹市

# 竜塚古墳

3世紀中頃～7世紀末頃に当たる古墳時代  
いにしへの文化や技術が垣間見える、身近にある貴重な  
歴史的文化遺産

遙か  
いにしへの  
文化遺産



PHOTO

竜塚古墳空撮写真

# 悠久の歴史の流れ…

# 神秘、方墳の世界

遙かにしえの時代が蘇る、奥深き方墳の世界  
歴史探索の旅に出かけよう

## 方墳とは？

竜塚古墳は県内では非常に珍しい方墳です。方墳とは四角い平面形をした古墳のことで、古墳時代の前期から後期まで造られています。明治時代からさかんに研究され、弥生時代後期の方墳の墳丘墓から影響を受けて生まれたらしいことも分かってきました。

古い方墳には前方後円墳と同じ時代に造られたものがあります。また、一方で7世紀に入って大陸の影響を受け、天皇など位の高い人の墓として

造られた方墳もあります。

古い方墳では遺体を収める部屋が頂上部から下に向かって縦に掘られています。7世紀頃の新しい方墳では墳丘の横に穴を設けて遺体を納める部屋(石室)に出入りする様式となりました。

石室の中には棺が置かれますが、古い方墳では竹を半分縦に割ったような形の木製の棺が使われ、新しい方墳では、舟、箱状の長もち、家屋などの形をした石製の棺が使われました。

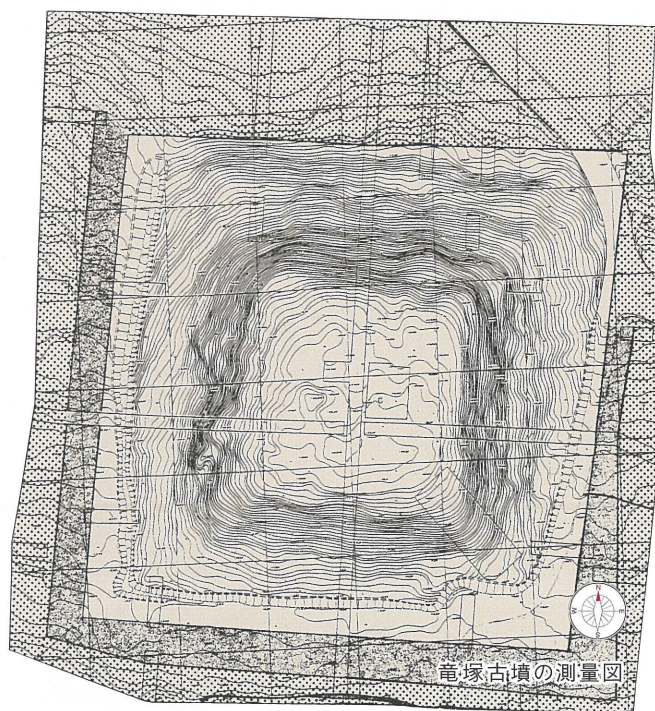
## 竜塚古墳は古い方墳で東日本最大

古い方墳は出雲地方(島根県)に多く見られます。造山古墳群第1号墳(60m四方)、大成古墳(60m四方、4世紀前半)が有名で、全国最大級の規模を持ち、国指定史跡になっています。

5世紀前半に造られた竜塚古墳も一辺の長さが約56mあり、出雲の方墳と比べても遜色のない規模で、東日本では最大の大きさを誇っています。



頂部で出土した土器



竜塚古墳の測量図

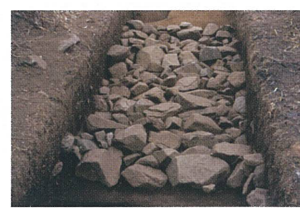
## 竜塚古墳の立地

竜塚古墳は甲府盆地を北西に望む八代町米倉の竜安寺山の上にあり、竜安寺山は、甲府盆地に突き出した舌状の台地になっていて、下の低地との差は約45mもあります。

竜塚古墳は竜安寺山の斜面が平坦に変わったすぐの場所を占めており、周辺の平坦部は畑として利用されています。



平坦面(手前)と上段の葺き石



発見された葺き石



竜塚古墳近景

## 竜塚古墳の概要と調査



調査風景

竜塚古墳の墳丘<sup>きてい</sup>は基底部平面が一辺56mの正方形で、頂部も一辺21mの正方形をしています。古墳の造られている平坦面は北にゆるく傾斜しているため、南の端では1.6mほど高くなっています。

また墳丘<sup>しゅうこう</sup>の周囲には幅10～15mの周溝が認められます。

平成12～15年度、断続的に発掘調査が行われました。竜塚古墳の保存整備をする際に必要な情報を得るためです。

墳丘斜面に開けたトレンチでは、中途に幅3～3.5mの平坦面を設け2段になっていることが分かりました。また上段側を人頭大<sup>じんとうだい</sup>の河原石を並べておっていることもわかりました。

周溝は内側が深く、外側が浅い2段構造になっていること、葺き石の多くは北約500mを西流する浅川から運ばれたことも判明しています。

墳丘頂上と周溝中からは5世紀前半頃の土師器片が見つかったので、竜塚古墳はこころ築造されたと推定されています。

## 岡・銚子塚古墳から見る竜塚古墳

谷を挟んで東の尾根の上に、竜塚から約600m離れて、巨大な前方後円墳があります。県指定史跡で笛吹市最大の岡・銚子塚古墳<sup>おか ちようしづか</sup>です。この古墳は山梨県最大の甲斐銚子塚古墳<sup>かい ちようしづか</sup>より少し遅い四世紀の後半、つまり竜塚古墳より少し早い時期に造られました。この岡・銚子塚古墳後円部から西をみると竜塚古墳が見えます。竜塚古墳の上に生えた高さ10mほどの数本の杉の木が目印です。



岡・銚子塚古墳から西の竜塚を見る  
(中央の杉木立)

## 竜塚古墳周辺散策地図



# 国内の様々な方墳

## 石舞台古墳

蘇我馬子の墓という説のある石舞台古墳は方墳だったことが分かっています。南側に口を開けた穴から花崗岩の(ないし上円下方墳)巨石で組み立てられた石室に入ることができます。この石舞台古墳は6世紀後半に造られました(国特別史跡)。

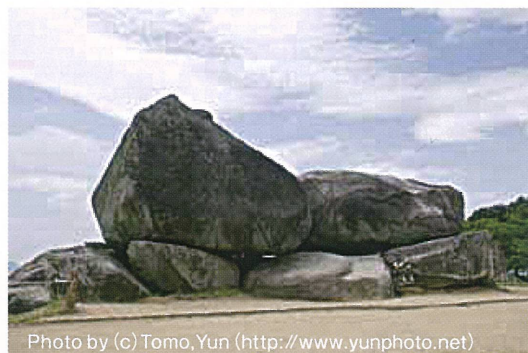


Photo by (c)Tomo,Yun (<http://www.yunphoto.net>)

## 天皇陵の方墳

新しい方墳は天皇ほか高位の人物の墓の形として使われました。

### 春日向山古墳(用明天皇陵)

大阪府南河内郡太子町にあります。東西65m、南北60m、高さ10mで、幅7mの溝がめぐって、その外側の堤まで含めると一辺100mほどになります。天皇の方墳としては最初の例です。

### 山田高塚古墳(推古天皇陵)

大阪府南河内郡太子町にあります。東西63m、南北56m高さ12mで、幅7mの溝がある方墳です。ちなみに40年ほど早く亡くなった推古天皇の夫の敏達天皇の墓は前方後円墳(太子西山古墳、全長約93m)です。

## 近県の方墳

### 中曽根親王塚古墳

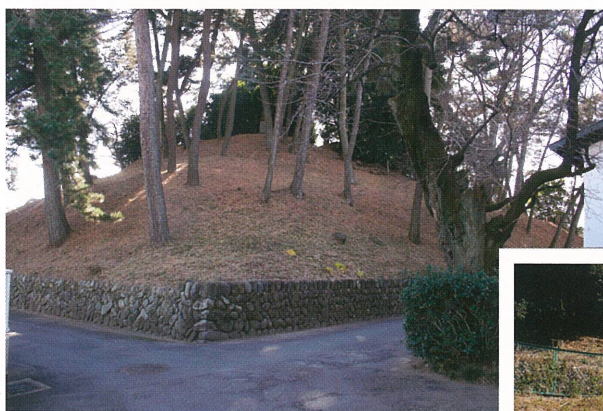
長野県東部の東御市にある5世紀後半に造られた方墳です。一辺52m前後で、高さ10m、頂部一辺が9mあります。幅10~12mの周溝があると考えられていますが、調査がなされていないので、詳しいことは不明です(長野県指定史跡)。



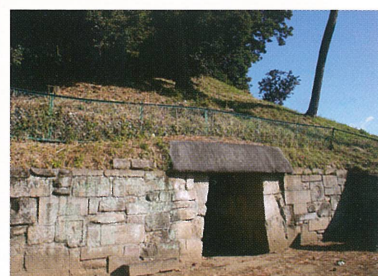
中曽根親王塚古墳

### 宝塔山古墳

群馬県前橋市総社町のJR東日本群馬総社駅の南にあります。一辺54mで高さは11mあり、7世紀の中頃に造られたと考えられています。法面途中2つのステップをもち、3段に築かれています。切石を積んで設けられた横穴式石室は中段に開口部をもち、中には家型の石棺が置かれています。国史跡。近くに同規模の方墳が2つ(愛宕山古墳と蛇穴山古墳)あります(国史跡)。



宝塔山古墳



宝塔山古墳の石室入口  
(正面両翼は見事な切石積)